

- 収穫時期・収穫量の予測データを活用した適期収穫による収量・品質の向上や集荷場の搬入を効率化。
- サービス事業者や食品等事業者と予測データを共有し、効率的な収穫や計画的な流通に活用。

## 経営上の課題

- ・定植時期や面積の記帳・集計等に時間と手間を要する
- ・収穫時期・収穫量の予測が不正確
- 集荷の集中により、予冷库貯蔵容量を上回り、外部の予冷库を借りる費用等が発生
- 収穫時期が重なり、収穫機が効率的に稼働出来ないこと等により、適期収穫できず裂球や内部障害が発生し、減収の要因となっている。

**申請者：**  
しかりべつ高原野菜出荷組合加工キャベツ部会  
(北海道鹿追町)

**対象品目：**  
加工・業務用キャベツ

**スマート農業技術：**  
精密出荷予測システム

**新たな生産方式：**  
上記システムに集約される栽培履歴データ等を活用した品質・収量の最適化に向けた肥培管理の実施

**活用予定の支援措置：**  
日本政策金融公庫の長期低利融資  
補助事業の優遇措置

## 計画の概要

### 加工キャベツ部会

- ・定植時期や面積を自動で把握・集計  
→ 記帳・報告作業の効率化
- ・収穫適期・収量を正確に予測  
→ 適期収穫が可能  
収量・品質向上  
集荷場（予冷库）の搬入の効率化

### 精密出荷予測システム

- ・定植時期や面積を自動で把握・集計
- ・収穫適期・収量を正確に予測

- ・各種データを一括管理・比較検討し、翌年の定植時期や肥培管理の適正化が図られる
- 実需者ニーズに合わせた出荷体制を確立し、実需者への安定供給が可能

- 既存の実需者との契約継続や契約量の拡大や新たな販売確保に生かすとともに、正確なデータによる比較検討により、収量や品質の向上が図られる

### サービス事業者



効率的な収穫機の運用

収穫時期・収穫量の  
予測データ

### 食品事業者



物流や予冷库の計画的な手配